

平成 18 年 3 月 13 日

厚生労働省社会保険庁運営部企画課 御中

全 国 銀 行 協 会
事務システム部

「社会保険業務の業務・システム最適化計画（案）」に対する意見

平素は、種々ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当協会では、さる 2 月 24 日に公表されました「社会保険業務の業務・システム最適化計画（案）」について、別紙のとおり意見を取りまとめましたので、何卒ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

以 上

「社会保険業務の業務・システム最適化計画(案)」に対する意見

1. 意見の対象

7ページ11行目から12行目(「第2 最適化の実施内容」中の「1. 業務・システム施策」の「(3) 社会保険業務における業務処理の合理化」の「オ データ更新タイミングの見直し」)

10ページ18行目から23行目(「第2 最適化の実施内容」中の「1. 業務・システム施策」の「(9) 記録管理システム及び基礎年金番号管理システムのオープン化」の「ア データ体系の簡素化」)

2. 意見の内容

金融機関においては、年金振込みにあたっては、年金受給者の口座に正確かつ迅速に入金されるよう処理しているところであるが、厚生年金等の振込データには、店舗コードや預金種別コードの記載がなく、店舗名相違が発生した場合や、最初の処理で当該口座を判別できなかった場合には、各金融機関が個別に確認のうえ、手作業で入金処理を行っているため多大な負担が生じている。

このため、昨年5月26日に公表された「社会保険業務に係る業務・システムの見直し方針(案)」において、年金振込みが正確かつ迅速に入金処理できるよう、他の労災年金や民間の振込データと同様、厚生年金等の振込データについても、店舗コードおよび預金種別コードを追加していただくよう意見を提出した。

また、貴庁では、昨年12月13日に「年金運営新組織2008年ビジョン」で「サービスは『スピード』と『正確さ』を大切に」とし、「年金の給付誤りの防止の徹底」を図ることを公表している。

上記のコードの記載は振込みの迅速化や給付の誤りの回避にも寄与することから、データ体系の見直しに際しては、是非とも厚生年金等の振込データへ店舗コードおよび預金種別コードを追加するようご検討いただきたい。

なお、店舗コードを記録した磁気媒体を作製していることから、店舗の統廃合等によりコードの変更等があっても、管理は容易に行えるものとする。

以 上